

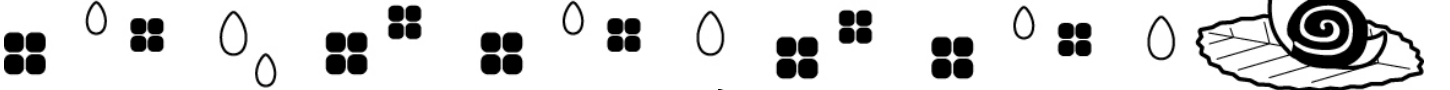
掴め君の未来を！

令和7年6月号

慶進中学校・高等学校
進路部
令和7年5月30日発行

3年生は、部活動での最後の試合や慶進祭などの行事を迎え、忙しい毎日を送っていることだと思います。そして、自らの受験勉強について悩む人も多くなったのではないのでしょうか。1学期は、これまでの学習内容の抜けや漏れを把握し、基礎学力の定着と不得意分野克服をする大事な時期です。そうすることで、「受験の天王山」である夏休みに、新しい範囲の積み上げや演習に時間を割くことができます。また、今後の見通しをたてるために具体的な「夏休みまでの学習スケジュール」を立案・実行することも大切です。6月にやるべきことはたくさんありますよ。

1・2年生は日々の授業や自学自習をがんばっていますか？ 慶進祭が終われば、いよいよ今年度初めての定期テストがあります。定期テストの準備期間を十分確保するためにも、試験勉強を早めに始めましょう（テスト週間だけが定期テストの準備期間ではありませんよ！）。テスト範囲の全てを勉強するためには、行き当たりばったりの勉強ではなく、やるべき内容とその時期を事前に決めて、計画的にテスト勉強をする必要があります。



●大学入試トピックス

（旺文社教育情報センターのHP記事から抜粋して作成）

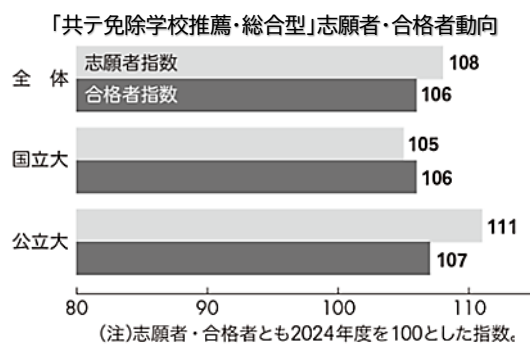
① 2025年度入試(卒業した3年生が受験した入試) 学校推薦型・総合型結果レポート

2025年度の学校推薦型選抜と総合型選抜の実施結果を調査・集計した。受験生数の増加や強い現役志向を背景に、国公立大・私立大ともに人気が高まった。2025年入試の前半戦として注目された「年内入試」の実施結果をレポートする。

全体解説：2024年12月25日現在（調査締切日）の、国公立大の共通テストを課さない（以下、共テ免除）学校推薦型選抜と総合型選抜（以下、「選抜」を略）の合計の集計データ（志願者数＝約2万5千人）では、前年比で「志願者8％増、合格者6％増」、倍率（志願者数÷合格者数。以下も同様）は2.3倍→2.3倍（24年→25年）とほぼ同じだった（右下のグラフを参照）。そのうち、国立大が「志願者5％増、合格者6％増」で倍率は2.5倍と前年並み、公立大が「志願者11％増、合格者7％増」で倍率は2.1倍→2.2倍とわずかにアップした。志願者が増えた基本的な要因として、大学受験生数の増加（約3％増。旺文社推定）と次の3点が主な要因と見られる。

- (1)理工系・情報系の女子枠導入など、共テ免除方式の実施学部が増えた（学校推薦型334→356、総合型260→410）。特に、学校長の推薦を必要としない総合型の大幅増は追い風となった。
- (2)共テ課す方式も含め、募集人員が増えた（学校推薦型3％増、総合型17％増）。
- (3)新課程初年度の共テへの不安感から、できれば「共テ以外の学力や実績を強みとして、共テ前に合格を確保したい」意識が働いた。総合型に力を入れる東北大が志願者7％増。また、一般後期を募集停止した京都工芸繊維大（30％増）、女子枠を導入した茨城大（12％増）・滋賀大（48％増）の大幅増が目立った。

学部系統別：文・人文、経済、理工、看護・医療が大幅増。文理ともに幅広く志願者が増加する中で、法はほぼ前年並みに留まった。



② 2026年度国公立大入試(現3年生が受験する入試)の変更点

新增設・改組：理工系を中心に学科の統合が目立つ。北見工業大-工(2→1学科)、信州大-工(5→1学科)、九州工業大-工(6→1学科)・情報工(5→1学科)、熊本大-文(4→1学科)、名古屋市立大-芸術工(3→1学科)、兵庫県立大-工(3→1学科)で学科を統合・改組する予定。佐賀大-コスメティックサイエンス学環、熊本大-共創学環、旭川市立大-地域創造、福井県立大-地域政策が新設予定。また、山形大-地域教育文化を「教育学部」に改組予定。佐賀大-教育、熊本大-教育では各教員養成課程を改組し、両大学が連携する「共同教員養成課程」を設置する予定。一方、岡山大-法・経済で夜間主コースを募集停止する予定だ。

学校推薦型・総合型選抜の変更：理工系で「女子枠」の設置が相次ぐ。京都大-理・工、大阪大-基礎工をはじめ、岩手大-理工、埼玉大-工、広島大-理・工・情報科学、愛媛大-工、高知工科大-システム工学群の推薦型や総合型で女子枠を新設する。また、名古屋大-工の推薦型では女子枠の実施学科を「4→6」に増やし、新潟大-工の推薦型で女子枠を募集人員増(5人→25人)、金沢大-地球社会基盤学類の総合型でも女子枠特別入試の実施コースを「1→3」に拡大する。この他、茨城大-教育、群馬大-共同教育、上越教育大、札幌医科大-医、名古屋市立大-芸術工などで総合型を新規実施する。

一般選抜の日程・募集人員の変更：【入試日程】旭川医科大-医(医)、山形大-教育・医(医)、茨城大-地域未来共創学環、群馬大-共同教育、広島大-法[昼・夜]・生物生産、佐賀大-医(医)、長崎大-薬などで後期を募集停止。一方、筑波大-日本語・日本文化学類で前期(学類・専門学群選抜)を新たに実施する。【募集人員】新潟大-工で推薦型の女子枠拡大に伴い、前期の募集人員を削減。愛媛大-工でも前期を削減、後期を増加。一方、兵庫県立大-工は後期を削減、前期を増加。募集人員の比率を「後期重視→前期重視」に転換する。

新課程科目導入 2年目の変化：既卒者対応の経過措置が解除されるため、科目の扱いにも変化がある。共通テストの情報Ⅰは、北見工業大の前期など「選択→必須」とする大学もあり、北海道大では「配点化しない→配点化する」に変更。個別試験でも、数学Ⅱの出題範囲に「統計的な推測」を追加するなど、新課程に対応した出題となる大学が見られる。

私立大の公立大学法人化：東北公益文科大…公立大学法人へ転換し、国際学部を開設する予定。

●先輩の合格体験記

昨年度、大学に合格した先輩の体験記を一部抜粋して掲載しています

東京大学理科二类 (中高一貫コース卒業) 【後輩へのメッセージ】	県立広島大学保健福祉学部 (アドバンスコース卒業) 【後輩へのメッセージ】	下関市立大学看護学部 (グローバルコース卒業) 【後輩へのメッセージ】
焦ることや伸び悩むこともあります。そんな時こそ今まで学んできたことを振り返ってみましょう。きっと大学を志望した時よりもはるかに成長しているはず。【勉強のやり方について】 数学:典型解法を暗記し、それらを用いて標準的な問題が解けるようになるのが第一段階です。後は問題を見た時の「自然な発想」を意識し、シンプルかつ論理的な解法を取捨選択しながら、難しい問題に取り組もう。 英語:単語と文法は高三になるまでに完璧にしておく。と楽になります。長文を解く前に英文解釈をやっておくと、文章の意味を理解しやすくなるし、和訳を上手になります。 理科(物・化):授業中の不明はiPadを用いて原理から調べ(深堀り)、科目全体を学んだ後に分野同士をつなげて理解を深める(俯瞰)ことを意識して学ぶと良いです。	こんなに勉強するのは今だけです。精一杯頑張ってください。自分を信じること!! 【勉強のやり方について】 国語:現代文に関しては、解き方を知ることがとても大切です。私は先に軽く設問を読んでから問題文を読み、設問に戻りました。古文・漢文に関しては単語を覚えてから、公式などを覚えるのが良いです。私は演習をしながら文法を身に付けました。 英語:英語は単語力と文法力が身につくから点が伸び始める教科です。甘く見ずにコツコツ勉強してください。私はその作業が嫌いで点が伸び悩んでいましたが、単語を勉強すると点が安定するようになりました。 【生活リズムで気をつけたこと】 休日でも学校の自習室に通っていました。Study plus で記録をつけ、友達と共有することでモチベーションを維持しました。	小論文、面接、志望理由書が必要な学校推薦型選抜を受験しました。受験対策は何事も早めの行動が大切だと思います。小論文も面接練習も早めに始め、何度も練習することで自信がつかます。私は自信を持って本番を迎えることができました。今、自分にできることを見つけ、合格に向けて頑張ってください!! 【受験勉強を通して良かったこと】 地元大学研究会に所属し、志望理由書や面接、小論文のサポートをしていただきました。ノートに大学について調べたことや、自分のやってきた活動についてたくさん書き込みました。そのノートは、志望理由書や面接の際に役立ちました。先生方は全力でサポートしてくれるので、先生を頼って頑張ってください。

共通テスト出願の電子化について

令和8年度(2026年度)の大学入試より、大学入学共通テストの出願手続きが電子化されることが大学入試センターより告知されています。これまでは現役生の場合、在籍している高校を通じて出願していましたが、今後は受験生本人が直接センターにオンライン出願することになります。それに伴い、出願のスケジュールや方法が例年より変わってきますので、注意が必要です。今後の主なスケジュールは以下のとおりです。

- 6月上旬 大学入学共通テスト実施要項の公表
- 6月中旬 受験案内・受験上の配慮案内の公表
- 6月下旬 高校専用サイトのアカウント情報等の送付
高校関係者向け説明会(説明協議会)の開催
- 7月1日～マイページ作成開始
- 9月16日～出願開始

※高校関係者向け説明会の後に、高校3年生に向けて情報提供します。学校から発信される情報に注意しましょう。

●「大学合同説明会 in Keishin」

5月16日(金)の午後、高校2年生、3年生とその保護者を対象に、本校メインアリーナにおいて「大学合同説明会 in Keishin」を実施しました。この行事は、株式会社ライセンスアカデミーさんのご協力により、九州・中国・関西・関東から35校の大学・専門学校の担当者に来ていただいて実施している合同説明会で、毎年5月に実施しています。参加した生徒は学校紹介や質疑応答を通して、今後の進路についての見聞を深めることができました。



●学外活動に参加しよう！

高校生になると、学校内の部活動や生徒会活動以外にも、学外の活動に参加する人が多くなります。学外活動とは例えば、外部団体によるコンテストや、大学主催のプログラム、地域の身近なボランティア活動などが当たります。様々な学外活動を通して、多様な人から異なる考えに触れることで、自分の視野が広がり、新たな考え方ができるようになります。また、大学に提出する志望理由書・活動報告書を書く時や、大学入試の面接試験の時には、学外活動がアピールポイントとして活用できます。ぜひ、学外活動の情報をキャッチし、フットワーク良く様々な活動に参加していきましょう。本校の地域連携教育推進委員会からも、様々な活動を紹介しています。特に夏休みは、学外活動の絶好の機会です。

★学外活動に参加した際にはフィールノートなどを活用しましょう



エコノミクス甲子園(R5.全国3位)

6月の進学スケジュール

- 1日(日) 第1回実用英語技能検定一次1～準1級(全国)
- 7日(土) 大学入試動向分析会(Ⅲ)
- 7日(土) 駿台全国模試(Ⅰ・ⅡA 希S全)
- 12日(木) 期末試験日割発表
- 21日(土) 第1回実用数学技能検定
- 24日(火)～7月1日(火) 期末試験